



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2022年6月 第1号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ：私の故郷、シアトル市



シアトル市は、アメリカの西海岸、ワシントン州にある港町です。車で北に向かえば、カナダの国境まで約3時間かかり、南に向かえば、江別市の姉妹都市、オレゴン州グレシャム市まで約3時間かかります。

気候は、半年以上曇りや雨なのですが、夏は温かく、気持ちよく晴れています。冬は北海道ほど寒くありません。少しでも雪が降れば、学校はお休みになり、交通機関が運休になるため、シアトル市民は大変困ります(子供達は喜びますが…)。

雨が降る日が非常に多いので、植物や木にとって最適な環境です。景色が緑色の宝石のように輝いていることから、「エメラルド・シティー」という愛称でも呼ばれています。緑豊かな森のほかに、西側にも東側にもそれぞれ山脈があり、ピュージェット湾とワシントン湖の間に位置し、自然に囲まれています。

市のシンボルはいくつかあります。まず、カスケード山脈の最高峰のレーニア山は晴れの日には堂々と視野に入ります。日本のコーヒーの「マウントレニア」という商品はこのレーニア山に因んで名付けられました。自然の象

徴に加えて、1962年のシアトル万国博覧会のために建てられた「スペースニードル」は、「宇宙時代の人類」というテーマを表し、シアトルの最も有名なランドマークです。展望台から、山や海やシアトルの市街地などのとても素敵な眺めが見られます。



(スペースニードルとレーニア山が見えるシアトルの景色)

最後に、シアトルの豆知識を紹介します。シアトル生まれシアトル育ちの人はシアトルアイト(Seattleite)と言います。実は、シアトルアイトと違う所から来た人の見分け方がありません。前述しましたが、シアトルは雨が沢山降る町です。それでも、シアトルアイトは傘を差さないのです。なぜかという、雨の日が多くて、小雨程度なので、殆どのシアトルアイトはフード付レインコートだけで雨の日を耐えるからです。しかし、違う所から来た人は、雨に慣れていなくて、レインコートも持っておらず、濡れないように傘を差します。もしシアトルに行くことになったら、地元のシアトルアイトのように、フード付レインコートを活用してみてください。(ちなみに、私はシアトルにいる時は傘を差しませんが、日本の雨はザーザー降ることが多いですから、ここでは傘を差していますよ。)☆



シアトルの基本情報

名前の由来	アメリカ原住民の「シアトル酋長」の名に因んでいる
愛称	The Emerald City(エメラルド・シティー)
成立日	1869年12月2日
面積	369.2 km ² (江別市の約2倍位)
人口	737,015人(江別市の約6倍位)
夏の平均最高気温	24°C(江別市と同じ位)
冬の平均最低気温	3°C(江別市は-10°C位)
企業	マイクロソフト、アマゾン、ボーイング、スターバックス、コストコ
スポーツ	マリナーズ(野球)、シーホークス(アメフト)



シアトル酋長



スターバックス1号店



私の母校：ワシントン大学の桜が満開



シアトルマリナーズのホーム球場
T-Mobile・パーク



私の気に入りの場所：ワシントン湖とスワード公園

Photo Credits (all via Wikimedia Commons): Page 1: US map, Seattle Kerry Park Skyline by CommunistSquared, Page 2: Chief Seattle by E.M. Sammis, T-Mobile Field by MyName (Cacophony), University of Washington Cherry Blossoms by Joe Mabel, First Starbucks by John Anderson, Seward Park by Miranda Estes

お問合せ先

教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町 24 番地の 6
Tel : 011-381-1049 Fax : 011-382-3434